

焼津市
総合計画に関する市民意識調査
調査結果報告書

令和2年3月

焼 津 市

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的.....	3
2 調査内容.....	3
3 調査設計.....	3
4 回収状況.....	3
5 報告書を見る際の注意事項.....	3
6 性年代の補正.....	4
7 調査の精度.....	5
II 調査結果	7
【回答者の基本属性について】	9
属性1：性別.....	9
属性2：年齢.....	10
属性3：子どもの有無.....	11
属性4：職業.....	12
属性5：勤務地.....	13
属性6：居住地区.....	14
属性7：居住形態.....	15
【焼津市の住みやすさについて】	16
1 焼津市が好きか.....	16
2 焼津市の暮らしやすさ.....	17
3 焼津市に住み続けたいか.....	18
4 行政サービスの満足度.....	19
5 焼津市は安心して子供を産み育てることができるまちだと思うか.....	20
6 市の情報を得る手段.....	21
7 必要な市の情報は十分得られていると思うか.....	22
8 市民の意見は行政に届きやすいと思うか.....	23
9 焼津市の都市環境等の満足度.....	24

【自分や家族・地域の状況やそれに対する考え方などについて】	30
10 心身共に健康だと思うか.....	3 0
11 日頃健康のために心掛けていることはあるか.....	3 1
12 かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持っているか.....	3 2
13 かかりつけ医・かかりつけ歯科医の所在地.....	3 3
14 医療機関は身近に整っていると思うか.....	3 4
15 文化・芸術に関する活動の有無.....	3 5
16 スポーツの頻度.....	3 6
17 市内の道路は徒歩や自転車で安心して快適に通行できると思うか.....	3 7
18 市内のバスは便利だと思うか.....	3 8
19 市内のバスが便利ではないと思う理由.....	3 9
20 民間路線バス・自主運行バスの利用頻度.....	4 0
21 身近に花や緑が多いと思うか.....	4 1
22 市内の公園の満足度.....	4 2
23 身近な商店街ににぎわいを感じるか.....	4 3
24 まちづくり活動への参加.....	4 4
25 まわりに認められ尊重されていると思うか.....	4 5
26 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への同調.....	4 6
27 男女共同参画情報誌Aしおかぜを読んだことがあるか.....	4 7
28 男女共同参画社会の形成の必要性が理解できたか.....	4 8
29 防災・減災のまちづくりのために市が重点的に取り組むべきこと.....	4 9
30 災害に対して備えていること.....	5 0
【自由意見】	51
31 自由意見.....	5 1
III 資料編	91
【クロス集計表】	93
【調査票】	123

I 調査概要

1 調査目的

第6次焼津市総合計画に掲載している施策の成果を把握することにより、今後の施策の検討資料とすることを目的としています。

2 調査内容

- 1 対象者の基本属性
- 2 焼津市の住みやすさについて
- 3 自分や家族・地域の状況やそれに対する考え方などについて

3 調査設計

調査主体：焼津市

調査対象：平成30年4月1日より継続して居住している焼津市在住の18歳以上の男女

標本数：3,000人

抽出方法：住民基本台帳に登録している者及び外国人登録をしている者で、永住者又は特別永住者として焼津市の住民基本台帳に登録している者から等間隔無作為抽出

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：令和2年1月10日～令和2年2月3日

調査機関：株式会社 アールピーアイ栃木

4 回収状況

発送数	有効回答数	有効回答率
3,000票	1,799票	60.0%

※ 今回調査で回収された調査票は全て有効票で、無効票（白票等）はありませんでした。

5 報告書を見る際の注意事項

- ・報告書の集計結果は、性別、年齢別の回答の偏りを補正し、集計しています。
- ・回答結果に補正係数を乗じて小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。従って回答数は整数値にはならず、また合計と一致しない場合があります。
- ・グラフの数値は、補正值の構成比（%）を示しています。
- ・構成比（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。従って合計すると、合計値と一致しない場合があります。
- ・質問の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、構成比の合計は100%を上回る場合があります。

6 性年代の補正

今回の市民意識調査回収結果については、焼津市全体の「性年代」別人口（母集団）からの偏りを補正計算して調査結果としています。

焼津市全体の 「性年代」別人口(※1)		回収		補正後		補正係数
		数	構成比(%)	数	構成比(%)	
男性10代(18・19歳)	1,393	17	0.9	21.1	1.2	1.241
男性20代	6,830	48	2.7	103.5	5.8	2.155
男性30代	7,578	77	4.3	114.8	6.4	1.491
男性40代	10,404	125	7.0	157.6	8.8	1.261
男性50代	9,194	146	8.1	139.3	7.8	0.954
男性60～64歳	4,223	77	4.3	64.0	3.6	0.831
男性65～69歳	4,654	108	6.0	70.5	3.9	0.653
男性70代以上	13,408	204	11.4	203.1	11.3	0.996
男性合計	57,684	802	44.8	873.8	48.8	1.090
女性10代(18・19歳)	1,315	19	1.1	19.9	1.1	1.048
女性20代	6,376	53	3.0	96.6	5.4	1.822
女性30代	7,355	113	6.3	111.4	6.2	0.986
女性40代	9,751	172	9.6	147.7	8.2	0.859
女性50代	8,925	185	10.3	135.2	7.5	0.731
女性60～64歳	4,219	100	5.6	63.9	3.6	0.639
女性65～69歳	5,010	120	6.7	75.9	4.2	0.632
女性70代以上	17,661	228	12.7	267.5	14.9	1.173
女性合計	60,612	990	55.2	918.2	51.2	0.927
合計	118,296	1,792	100.0	1,792.0	100.0	
無回答(※2)		7				

※1 令和元年12月31日現在の住民基本台帳人口です。

※2 「無回答」は、性別あるいは年代を尋ねる設問に回答していない方の数を表します。今回の集計は「無回答」を除いて集計しています。

7 調査の精度

この調査は、単純無作為抽出により対象者を定めたもので、標本誤差は以下の式で近似できます。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

σ : 標本誤差

N : 母集団

n : 標本の大きさ

P : 回答比率

変数 κ は信頼率により決まり、信頼率90%ならば1.64とされます。

回答者総数 (1,799人) を100%とする場合の質問で、信頼率を90%とすると、各回答比率別の標本誤差は以下の通りとなります。

回答比率	標本誤差
50%	±1.92%
60%または40%	±1.88%
70%または30%	±1.76%
80%または20%	±1.54%
90%または10%	±1.15%

これは、例えば今回の調査においてある設問を単純集計した場合、その設問の「A」という回答が全体の50%であったとすれば、今回の調査の母集団 (18歳以上の焼津市民全体: 118,296人) に同じ設問をしても、統計学的には90%の確率で「A」の割合は、 $50 \pm 1.92\%$ の範囲内となり、精度は確保されていると言えます。